

散居村の保全と活用シンポジウム【第1回】

日時 平成24年9月23日(日) 午後1時30分より
会場 砺波市文化会館 多目的ホール

【次第】

◆主催者あいさつ 実行委員会 代表 尾田 武雄 午後1時30分～

◆基調講演：世界に誇れる日本の原風景「散居村」－砺波平野の歴史・顔・財産－
講師 上野 幸夫 氏（職藝学院 教授）

午後1時40分～

◆パネルディスカッション：散居村の魅力再発見 午後2時40分～

パネリスト 上野 幸夫 氏（職藝学院 教授）
柏樹 直樹 氏（砺波カイニョ倶楽部 代表幹事）
川崎 和夫 氏（庄川峡観光協同組合 理事）
寺島 正浩 氏（鷹栖夜高保存会 前会長）

コーディネーター 構 富士雄（砺波市都市整備課）

☆次回以降の開催案内☆

●第2回散居村の保全と活用シンポジウム

◆日時：平成24年11月25日(日)13:30～16:00 砺波市文化会館 多目的ホール（砺波市花園町1-32）

◆基調講演：「地域資源を生かしたまちづくり ～空き家を活用した地域活性化の取り組み～」

講師：麻田 馨 氏（福住まちづくり協議会 前会長【兵庫県篠山市】）

◆パネルディスカッション：「散居村を生かした経済の活性化」

パネリスト：石崎 元蔵 氏（鷹栖建工㈱ 代表取締役）

北村 夏樹 氏（日ビル商事㈱ 代表取締役）

森田 由樹子 氏（㈱エコロの森 代表取締役）

横山 宜致 氏（公益財団法人 兵庫丹波の森協会 専門研究員）

コーディネーター：余西 孝之 氏（砺波商工会議所 総務委員長）

●第3回散居村の保全と活用シンポジウム

◆日時：平成25年1月27日(日)13:30～16:00 砺波市文化会館 多目的ホール（砺波市花園町1-32）

◆内容は現在調整中です。

第1回シンポジウム 講師・パネリスト紹介

【基調講演・パネリスト】

上野 幸夫 (うえの さちお)

1957 年宮城県生まれ、富山市在住。

国宝瑞龍寺(高岡市)を始め、全国各地の文化財修復を指揮し、多くの歴史的建造物の調査修復・町並み再生を行う。平成9年より職藝学院教授に就任し、若手職人の育成に努めながら、富山県及び市町村の計画審議・文化財保護審議委員等を務め、現在に至る。



【パネリスト】

川崎 和夫 (かわさき かずお)

1951 年砺波市(旧庄川町)生まれ、庄川町金屋在住。庄川峡観光協同組合 理事、水記念公園カンパニー 専務理事。現在、庄川水記念公園の指定管理を通し、足湯や庄川峡桜まつり等、地域にある資源を活用した新たなイベント企画やゆずソフト等の新商品の企画・開発を通して、地域活性化に努めている。



【パネリスト】

柏樹 直樹 (かしわぎ なおき)

1935 年砺波市生まれ、荒高屋在住。

砺波カイニョ倶楽部 代表幹事。富山営林署勤務で培われた樹木や樹林の知識を生かし、屋敷林の保全に向けた取組を実践している。現在、砺波市保存樹等保全委員会 委員長、砺波市屋敷林保全管理検討会委員長等を務める。



【パネリスト】

寺島 正浩 (てらしま まさひろ)

1973 年砺波市生まれ、鷹栖在住。鷹栖夜高保存会 前会長。平成 13 年から一時休止していた地域の祭礼行事(夜高祭り)を、若者の地域コミュニティ向上と子どもたちへの地域伝統行事継承を目指して平成 21 年に再興し、地域の一体感づくりを実践している。



(メモ欄)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.